

平成29年第2回定例会総務委員会会議録

平成29年6月19日  
午前10時～午前10時06分  
全員協議会室

出席者氏名

札幌 章俊 委員長	大竹 昇 副委員長
深沢 幸子 委員	滝沢 健一 委員
後藤 敦志 委員	杉野 五郎 委員
大野誠一郎 委員	

執行部説明者

副市長	川村 光男	総務部長	荒井久仁夫
総合政策部長	龍崎 隆	市長公室長	石引 照朗
議会事務局長	黒田 智恵子	危機管理監	出水田正志
会計管理者	飯田 俊明	危機管理課長	猪野瀬 武
人事行政課長	菊地 紀生	財政課長	岡田 明子
税務課長	渡邊 正一	納税課長	石山 徹
契約検査課長	島田 眞二	企画課長	森田 洋一
資産管理課長	廣瀬 清司	情報政策課長	八木下昭弘
<small>道の駅・牛久沼プロジェクト課長</small>	由利 毅	秘書課長	松田 浩行
広報広聴課長	松本 大	<small>シティセールス課長</small>	宮川 崇
会計課長	大和田英嗣	監査委員事務局長	谷川 登
企画課長補佐	廣田 裕一（書記）		

事務局

次長 松本 博実      副主幹 吉永 健男

議 題

議案第3号 平成29年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第1号）の所管事項

札幌委員長

皆さん、おはようございます。

開会に先立ちまして、委員の皆様申し上げます。

本日傍聴の申し出がありますので、これを許可いたします。

ここで傍聴の皆様一言申し上げます。会議中にご静粛をお願いいたします。

ただいまより総務委員会を開会いたします。

本日、ご審議をいただきます案件は、今期定例会において、当委員会に付託されました議案第3号の所管事項、以上、1案件です。この議案につきまして、ご審議をいただくわけでございますが、発言は簡潔明瞭に、また、質疑は一問一答をお願いいたします。会議が円滑に進行できますよう、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは議案の審査に入ります。

議案第3号、平成29年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第1号）の所管事項について、執行部から説明願います。

荒井総務部長

それでは、議案第3号、平成29年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第1号）について説明をさせていただきます。この補正予算でございますが、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、5294万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、243億5294万8000円とするものでございます。

所管事項について説明をさせていただきます。6ページをお開きください。歳入でございます。下の方です。繰越金でございます。2558万9000円を計上しております。これは今回の補正予算の財源調整のため、計上をいたしましたものでございます。

続きまして、その下です。諸収入、雑入、団体支出金でございます。0004の馴馬財産区事務費等負担金でございます。111万6000円を計上をいたしておりますが、これは市職員の人件費相当分を計上しております。経緯でございますが、昨年7月の決算審査におきまして、監査委員の方からご意見をいただいております。馴馬財産区の事務につきましては、資産管理課で行っておりますが、その関係で人件費相当分については、馴馬財産区に考慮していただいても良いのではないかと、ご指摘ご意見がございました。それを受けまして、財産区協議会、そして、馴馬財産区議会を経ました。この議会につきましては当初予算は今年の3月に成立しております。その関係で今回の補正予算で、この111万6000円を計上したものでございます。

続きまして次のページ8ページ9ページをお開きください。歳出でございます。ただいま申し上げました馴馬財産区事務費等負担金111万6000円につきましては歳出の方では、この上のところ。総務費総務管理費3財政管理費に計上をいたしております。ここでは一般財源の方を111万6000円を減額して、特定財源の方、先ほどの負担金です。これを計上したものでございます。財務関係システムを馴馬財産区と共用して事務処理を行っておりますので、その関係で、ここの財政管理費の方に負担金を計上したものでございます。

説明は以上でございます。

札幌委員長

執行部からの説明は終わりましたが、質疑等はありませんか。

【なし】

別にないようですので採決いたします。

議案第3号、本案は原案の通り、了承することにご異議ありませんか。

【異議なし】

ご異議なしと認めます。よって、本案は原案の通り了承することにするに決しました。

以上で当委員会に付託されました案件の審査は終わりました。

これをもちまして、総務委員会を閉会いたします。

お疲れ様でした。